

## 29年度事業報告書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

特定非営利活動法人 手をつなごう

### 1 事業実施の成果

#### ① いきいきトレーニングセンター事業

高齢者が介護予防のためのトレーニングを実施しながら地域との交流を図るための場所を設置している。運動という目的を通して高齢者の引きこもりを防止し、地域との交流や情報交換を図る接点を担うことができている。

高齢者だけでなく障がいを持つ方、若者なども利用し利用者の幅は拡大している。

29年度は長期継続者(利用者)へインタビューを実施し心身の変化などを公開・共有し

利用者同士の交流のきっかけや心身の健康づくりへの意識を高めることに繋がったと考える。

利用者の滞在時間や利用頻度も増加していることから利用者にとって必要な場所であることを認識できた。

#### ② 「地域といっしょに。あなたのために。」必要とされる「参加」の場と人づくり：ラウンジ事業

昨年度夏にこれまでの活動拠点から場所を移し活動を実施。(同じ施設内)

「生きがいづくり」「趣味活動の場」「仲間作り」「講師やボランティアを担うことで、人から必要とされる環境作り」を目的として企画・運営サポートを実施してきたが、昨年度はより幅広く広告を打ち、地域に潜在的に存在するであろう参加者・ボランティアを募った。

一度教室へ参加されると参加者の定着率は高く、仲間作り・趣味活動の場としての機能を果たしていた。また、教室を通して知り合った新たな仲間との輪が広がり、活動を通して各参加者それぞれの楽しみや生きがいへと発展。参加者から講師へ移行された方もおり、新教室開催への繋がりを見せた。教室参加者からの提案で、編み物教室やビーズ教室等、教室で作成した作品の販売を開始するに至った。

#### ③ 「地域といっしょに。あなたのために。」必要とされる「参加」の場と人づくり：みんなの農業事業

「みんなの畑」と称した畑では、地域住民や子供達、高齢者や認知症、障がいのある方、施設入居者などが畑での作業を通じ、世代間交流や生きがい・役割づくりを行った。

#### ④ 利根沼田医療福祉勉強会事業

利根沼田医療福祉勉強会は、利根沼田地域での胃瘻など在宅医療の知識の底上げや病院間のシームレスな連携、胃瘻連携パスの円滑な運用を目指し、勉強会の開催や会議を行ってきた。今後も日常業務やケアの一助としていただけるような勉強会を企画していく。引き続き、地域の医師が共同してリーダーとなり、多職種が一同に会して学び、情報交換を行うことで地域医療・ケア水準のボトムアップを図っていく。

#### ⑤ 木漏れ日の会事業

地域に必要な社会資源を創設していくために『ひと・まち運営会議事務局』を木漏れ日の会に設置した。障害者・高齢者を含む誰もがいきいきと安心して暮らせるためのひと・まちづくり(地域包括支援体制づくり)事業として2点の事業を掲げ丸紅基金社会福祉助成金が決定した。まず、①障害者や高齢者・子育て支援として活用できる『利根・沼田お助け隊マップ』を作成するために、木漏れ日の会のメンバーなどに声をかけ地域で活動しているフォーマル・インフォ

一マルサービス団体の調査を実施した。今後は活動している団体を参集し活動状況の報告会や講師を招き研修会の開催を計画している。また②地域住民や関係者と協働で5つの『あったらいいな』を立案し、その結果次年度に2つの事業を計画している。

(買い物支援・お助け隊がいるサロン)

⑥ いきいき工房みんなの家事業

地域の方々の交流の場、学びの場、遊びの場を目的に教室活動を昨年に引き続き実施。定期開催の教室が5つとなり、教室の運営が安定しつつある。市の広報の他、毎月地区回覧板や地域のタウン誌に教室開催を掲載したことで、利用者数は前年の2,7倍となった。地域住民が教室の講師を担い、地域の方と施設利用者が一緒に参加し交流を図れた。また、自主活動の場とし部屋の貸し出し利用を行ったところ、会議や集いの場として活用があった。いきがいやりがい、役割の場の提供ができた。30年1月27日に「人がつながる居場所づくり」研修会を開催すると110名の参加があった。事後、発表者同士、発表者と参加者が共に活動をするなど、つながりがみられる報告があった。

⑦ 認知症高齢者と家族への支援と地域作り事業

高齢者の徘徊SOSネットワークの検索メール配信について、滞りなく施行でき、検索活動に貢献できた。

事前認知症学習と模擬徘徊訓練について、行政・各支援センター等連携して事業を行い、小学生の理解を深めるとともに地域で認知症高齢者を見守るという意識作りができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
いきいきトレーニングセンター事業	地域住民に対し健康づくりの場、交流の場としてトレーニングセンター(運動をする場)の提供を行っている	H29.4 ～ H30.3	沼田市 久屋原町	5名	会員数474名
ラウンジ事業	毎月実施の教室活動を通し、生きがいつくり、趣味活動の場、人との交流の場、講師やボランティアとして、人から必要とされる場の提供を行う。 ・現在、13活動を実施。(ミュージッククラブ・歌体操クラブ・編み物教室・書道教室・つるし雛教室・折り紙細工教室・手芸教室・ビーズ教室・子ども交流会等)	H29.4 ～ H30.3	沼田市 久屋原町	20名	3,095名 (延人数)
みんなの農業	・はたけでの栽培から袋詰め、販売(5月～11月)まで実施。 ・さつまいも掘りなど保育園との交流会を実施。 ・地域の高校生(利根実業高校)とのはたけ作業などを通じた世代間交流を実施。 ・ラウンジ事業と合同にてボランティア交流会を実施。	H29.4 ～ H30.3	沼田市 久屋原町	10名	30名

利根沼田医療福祉勉強会事業	・医療、福祉の従業者を対象に、医療・福祉の幅広い分野での研修会を行った。	H29. 4. 19	利根中	3人	32人
		H29. 6. 17	利根中	3人	48人
		H29. 10. 25	内田病院	3人	71人
		H30. 1. 24	内田病院	3人	51人
	・利根沼田地域における胃瘻地域連携パスの作成と改善点についての会議や、患者様の予後調査を行った。	H29. 6. 28	内田病院	3人	14人
		H29. 9. 27	内田病院	3人	18人
		H29. 12. 20	内田病院	3人	13人
		H30. 3. 28	内田病院	3人	15人
木漏れ日の会事業	<p>① 域に必要な社会資源を創設していくために『ひと・まち運営会議事務局の作成</p> <p>②地域で活動しているフォーマル・インフォーマルサービス団体の調査</p> <p>③調査をもとに障害者も高齢者も活用できる『利根・沼田お助け隊マップ』を作成</p>	H29. 5. 15	内田病院	9	
		H29. 7. 10	いきいき未来の森	10	
		H29. 9. 29	まつかわ	10	
		H29. 11. 10	いきいき工房みんなの家	7	
		H29. 12. 18	いきいき工房みんなの家	8	
		H30. 1. 15	いきいき工房みんなの家	13	
		H30. 2. 27	いきいき工房みんなの家	10	
		H30. 2. 20	いきいき工房みんなの家	5	
		H30. 3. 29	いきいき工房みんなの家	5	
		H30. 3. 30	いきいき工房みんなの家	4	
いきいき工房みんなの家事業	教室活動・趣味活動を継続。教室数は10。開催回数は合計107回。教室内容は、歌声喫茶・麻雀倶楽部・手話サークル・くやはら大学・陶芸教室・蕎麦打ち教室・季節の行事等、30年1月27日研修会を沼田市中央公民館で開催。	H29. 4 ～ H30. 3	沼田市久屋原町	2名（事業により随時協力者あり）	延べ816名

認知症高齢者 と家族への 支援と地 域づくり事 業	・高齢者の徘徊SOSのモバイル一斉送信	H29.4 ～ H30.3	事務所	1	12名
	・小学生を対象とする事前認知症学習 (小学1～6年生の児童・教員対象)	H29.11.27	沼田東小 学校	1	276名
	・認知症高齢者模擬徘徊訓練 (下校時間の関係で、小学1～6年生の 児童対象)	H29.11.27	沼田東小 学校	1	276名

### 3 会議の開催に関する事項

#### (1) 総会

##### ア 通常総会

- ① 日時、場所 平成29年5月18日 午後2時から午後2時30分 事務所
- ② 議題 事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支決算書付議の件  
議事録署名人の件

#### (2) 理事会

##### ア 理事会

- ① 日時、場所 平成29年5月18日 午後2時35分から午後3時 事務所
- ② 平成28年度決算の件  
平成29年度予算の件  
平成29年度事業計画の